

広報

かわにし

(毎月10日発行)



昭和59年 3/10 No.307

948-01 新潟県中魚沼郡川西町大字水口沢12番地 (☎0257-68-3111)

発行 町長 南雲春雄 編集 総務課文書広報係 印刷 白南風社

人口の動き	
— 3月1日現在 —	
男	4,873 (-3)
女	4,976 (-4)
計	9,849 (-7)
世帯数	2,343 (-1)
() 前月比較	



3月の休日救急医

18日	第二藤巻医院 (上野)
20日	富田医院 (神明町)
25日	中条病院 (中条)

4月上旬の予定

1日	千手診療所
8日	至誠堂医院 (西浦町)

なだれにご注意 3月9日現在の積雪が420cmとなり、56豪雪の際の同日を50cm上回っています。なだれにご注意を!!

おにぎりをおいしそうに食べているのは、千手小学校の児童たちです。

千手小学校では、先月二十二日にスキー大会を開きました。

午前には角万寺スキー場で滑降を行いました。段取りもよく十一時前に終了しました。

そこで、お昼もちよつと早めになりました。午後からは中屋敷の田原で滑走が行われます。エネルギーをいっぱい蓄え、午後からもがんばります。

この日は天気にも恵まれ、みんなが自分の力を精いっぱい出しました。

議会 報告

新年度予算案の審議を中心とする第二回町議会定例会が、三月五日から二十三日までの十九日間の会期で開かれています。六日には新年度予算案の町長提案説明がありました。細部にわたり審議を重ねたうえ、採決は二十二日に行われる予定です。今回は、新年度予算案の大筋についてのみ掲載させていただきます。

新年度予算案の審議が始まる

議会で審議中の五十九年度予算案は、一般会計の総額が二十七億二千五百万円、地域休養施設を加えた七つの特別会計が十二億四千五百三十九万四千円です。合わせると三十九億七千三十九万四千円の規模になります。

一般会計は前年度当初予算より二千七百万円多く、伸び率は一・〇パーセントと小幅です。

特別会計のほうは一億六千三百四十五万五千円の増で、一五・一パーセントの伸びです。

予算編成は、第四次総合開発計画や臨時行財政調査会の答申、事務改善プロジェクトの報告などを受け、厳しい財政環境の中で事務・事業の見直しを行い、財源を重点的、かつ効率的に配分して行ったものです。

新年度の大きな事業としては、橋小学校の改築、農村総合整備モ

59年度各会計予算案 (単位：千円・%)

会計区分	本年度	前年度	増減率	
一般会計	2,725,000	2,698,000	1.0	
特別会計	国民健康保険	478,535	430,302	11.2
	国保診療所	90,376	85,787	5.3
	へき地出張診療所	20,890	20,534	1.7
	老人保険	447,778	401,075	11.6
	地域休養施設	69,563	0	皆増
	農業共済事業	93,852	90,541	3.7
	簡易水道事業	44,400	53,700	△17.3
	計	1,245,394	1,081,939	15.1
合計	3,970,394	3,779,939	5.0	

(△印：減)

主な事業と支出事項

一般会計予算案の中から (単位：千円)

- 〔総務費〕 ▶ 2階事務室改築等工事費 5,400 ▶ 橋小学校舎等取りこわし工事費 4,500 ▶ 財政調整基金利子積立金 5,100 ▶ 山野田運動広場造成等工事費 5,000 ▶ 町史原稿執筆謝礼 5,400 ▶ 町税関係電算業務委託料 4,739
- 〔民生費〕 ▶ 社会福祉法人あかね会補助金 11,795 ▶ 川西町社会福祉協議会補助金 3,200 ▶ 県障医療費扶助 6,270 ▶ 国民年金印紙購買基金繰出金 9,000 ▶ 児童手当 18,030
- 〔衛生費〕 ▶ 十日町市川西町衛生施設組合負担金 45,846 ▶ 水道企業会計補助金 55,000 ▶ 老人保健特別会計繰出金 23,061 ▶ 簡易水道会計繰出金 22,000 ▶ 各種検診委託料 7,867
- 〔農林水産業費〕 ▶ 地域休養施設特別会計繰出金 10,865 ▶ 農道維持管理委託料 5,000 ▶ 県営一般農道整備事業負担金 4,090 ▶ 水田利用再編対策費 5,364 ▶ 農業構造改善費 77,229 ▶ 農村総合整備事業費 122,341 ▶ 林道開設工事費 13,000 ▶ 造林事業費 77,015
- 〔商工費〕 ▶ 地方産業育成資金貸付金 27,000 ▶ 同元利償還金 12,202 ▶ 観光費 5,341 ▶ 企業誘致費 1,899

議会の日程 (後半分)	
3月21日	町長に対する総括質疑
22日	59年度予算全般に対する質疑・討論・採決
23日	新設条例の採決 ほか

- 〔土木費〕 ▶ 国道工事負担金 11,700 ▶ 道路台帳作成委託料 5,000 ▶ 信濃川新橋(仮称)関連測量調査委託料 2,000 ▶ 道路補修工事費 9,700 ▶ 道路新設改良費 135,956 ▶ 特四工事費 16,740 ▶ 道路除雪費 88,118 ▶ 融・耐雪住宅建設資金貸付金 10,000

- 〔消防費〕 ▶ 十日町地域広域事務組合負担金 95,097

- 〔教育費〕 ▶ 住宅購入費 18,650 ▶ 義務教育費国庫負担教材購入費 3,684 ▶ 学校建設費(橋小改築関係) 214,370 ▶ スクールバス運行委託料 6,760 ▶ 自動車購入費 6,000 ▶ 野球場建設費 8,179

- 〔災害復旧費〕 ▶ 農地農業用施設災害復旧費 42,700 ▶ 公共土木施設災害復旧費 31,464

- 〔公債費〕 ▶ 元金 211,823 ▶ 利子 169,873

- 〔諸支出金〕 ▶ 役場駐車場用地購入費 7,000 ▶ 中子用地購入費 88,374 ▶ 国有地購入費 4,510

※特別職報酬・給料・手当等 (603人) 76,317

※一般職給料・手当等 (163人) 573,020

十日町地域 財政事情の公表
 広域事務組合 昭和58年12月31日現在

昭和58年度各会計予算執行状況
 (単位：万円)

会計区分	項目	予算額	収入済額	収入率	支出済額	執行率
一	般 会 計	66,597	56,387	84.7	47,999	72.1
特 別 会 計	総合福祉センター と畜場事業特別会計	1,706 2,940	1,398 2,409	81.9 81.9	976 1,713	57.2 58.3
合 計		71,243	60,194	84.5	50,688	71.1

昭和58年度市町村別負担金状況
 (単位：万円)

市町村	一般会計	福祉センター 特別会計	と畜場事業 特別会計	合 計	構成比
十日町市	29,749	24	597	30,370	49.0
川西町	9,118	19	116	9,253	14.9
津南町	13,419	1,321	223	14,963	24.2
中里村	7,283	21	72	7,376	11.9
合 計	59,569	1,385	1,008	61,962	100.0

火災・水害・救急車等出動状況
 (58.4.1～58.12.31)

	十日町市	川西町	津南町	中里村	合 計
火災水害等	32	10	13	4	59
救急車出動	588	122	185	56	951
計	620	132	198	60	1,010

総合福祉センター・と畜場利用状況
 (58.4.1～58.12.31)

	十日町市	川西町	津南町	中里村	その他	合 計
福祉センター	294	230	6,879	273	163	7,839
と畜場	3,002	1,435	3,669	965	576	9,647



高原田地内を視察

公明党豪雪災害対策部が
 川西町の状況を視察

先月二十八日の午後、公明党豪雪災害対策部視察団(鶴岡洋团长)が川西町を訪れました。

一行は鶴岡参議院議員、太田淳

夫参議院議員、水谷弘衆議院議員、森本晃司衆議院議員をメンバーとする二十人ほどでした。

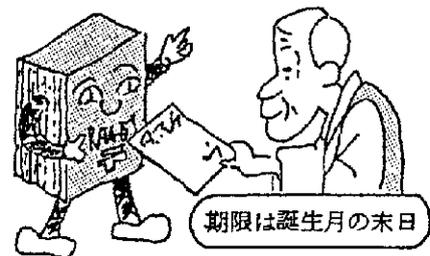
高原田地内の道路除雪現場や千手の県道の状況を視察し、その後役場の議場で町長をはじめ町の関係者、議会の豪雪対策特別委員会の方々から陳情を受けました。

鶴岡团长あての陳情書の内容は、豪雪による住民の不安を除去し、生活の安定を確保するため、①特別交付税の増額配分、②町道除排雪に対する特別補助制度の確立、③公立文教施設等の整備(特別豪

雪地帯の事業量の大幅拡大と補助単位の引き上げ)、④流言講関連施設の補助対象拡大と水源確保のための財政援助、⑤冬期孤立部落解消のため、国県道の早期除雪、⑥除雪機械の整備促進と更新に雪寒補助制度の措置、⑦町道の消雪パイプ伏設の拡大と国県道の老朽消雪パイプ施設の更新、⑧除雪経費の所得税雑損控除全額対象化、⑨消雪遅延による春耕対策、に特別な配慮をいただきたいとしています。

鶴岡团长は、「豪雪によるみんなの苦勞を衆議院や参議院の災害対策委員会に訴え、陳情事項の実現のため努力したい」と話されました。

ねんきん 誕生日には現況届が必要



ご存じですか

障害年金

国民年金では、老後の保障ばかりでなく、病気やケガをして障害が残ったときは、その初診日前一年以上(国民年金と厚生年金、共済などの年金制度の加入期を合わせて一年以上でもよい)保険料を納めた人は障害年金が受けられます。

年金額は障害の状態によって二つに分かれます。

①一級障害 他人の助けを借りなければほとんど自分の用をすることができない状態 七十万三千五百円

②二級障害 他人の助けを借りる必要はないが、日常生活は非常に困難な状態 五十六万二千八百円

この現況届は、年金を引き続き受ける権利があるかどうかを確認するたいせつな届です。現況届の提出がないと生存の確認ができまませんので、届がでるまで年金の支払いは止められます。

現況届の用紙(はがき)は、誕生日の月上旬に社会保険庁から送られてきますので、町長の証明を受けて、できるだけ早く投函してください。

ただし、年金を受け始めてから一年にならない人、年金が支給停止になっている人は、現況届を提出する必要があります。

障害年金は国民年金に加入中の事故による障害に関するものですが、二十歳前で国民年金に加入していないときについても二十歳になったときから年金が受けられます。これを障害福祉年金といいます。一級障害四十三万二千円、二級障害二十八万八千円です。詳しくは、役場年金係へおたずねください。

転作

第三期対策スタート

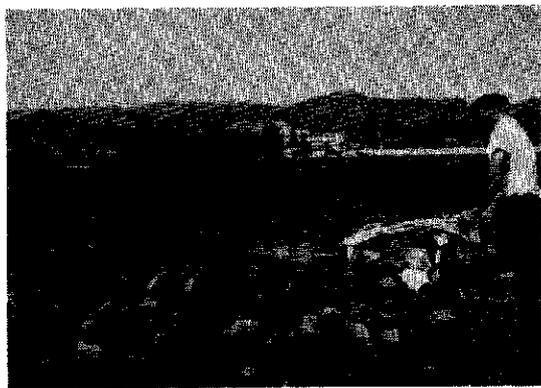
水田利用再編対策の推進につきましては、日ごろ格別なご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

昭和五十九年度から三年間、第三期対策が実施されることになりました。第三期対策では、「転作定着化の推進」と「他用途利用米の制度化」にどう対処するかが重要課題です。

これまでの実績を踏まえて新たな課題に向かい、さらに「集落ぐるみの集団転作」を推進していただき、転作の効率的な実施によって農業経営の安定を図っていただくようお願いいたします。

川西町の目標面積

- 59年度転作等目標面積
109.9 ha
- 59年産米事前売渡申込限度数量
うるち米 3,573,420 kg (59,557 俵)
もち米 200,580 kg (3,343 俵)
(他用途利用米は 808 俵)



川西町の五十九年度転作等目標面積は表のとおりです。

米をめぐる情勢

五十八年産米生産量は、四年連続の不作に見舞われましたが、五十九年産米の需要量に見合う千五百万トン程度と見込まれていますが、米の潜在生産力は、需要を二百万トン以上も上回り、今後とも過剰基調で推移するという状況にはなんら変わりありません。米の需給均衡を図るためには、集団転作

転作大豆のうねたて

作等への取り組みをいっそう強化し、需要の動向に適切に対応していく必要があります。

米の需給計画

(単位：万玄米トン)

項目	数量
1. 潜在生産量 (A)	1,375
2. 需要量(主食用) (B)	1,040
3. 在庫増量 (C)	45
4. 要調整数量 (転作等目標面積) (A)-(B)-(C)	290 (60万ヘクタール)
5. 生産予定量(B)+(C)	1,085

他用途利用米とは

地域によっては転作率が高くこれ以上の転作が不可能、他作物への効率的な栽培が土地条件等によって困難、加工原材料の輸入阻止などを目的に他用途利用米制度が生まれました。

- ▽生産面積 川西町は十・四ヘクタール 転作等目標面積の内数として扱う
- ▽対象・量 加工原材料(みそ、せんべい、穀粉等) 米質うるち米のみ三等まで 川西町は四十八・四八トン
- ▽政府助成 出荷量一トン当たり七万円(十アール約三万五千円)
- ▽農家の手取り額 一俵当たり約一万八千円

「集団転作と定着化」を

第二期対策町の基本方針

農家の皆さんと関係機関が創意を結集した推進体制をさらに強化し、「集落ぐるみの集団転作と定着化を推進」して地域農業の再編成と生産性向上を図ることを基本とします。

特に、集団転作地区の拡大を図るとともに、新たに設置された第一種加算制度が活用できる団地化(連担団地)を推進し、規模の大きい転作中核集団の実現に努めます。

す。

重点作物には、大豆(エンレイ)、飼料作物(青刈トウモロコシ)、野菜(加工用ナス、シロウリ、野沢菜など)を指定しています。

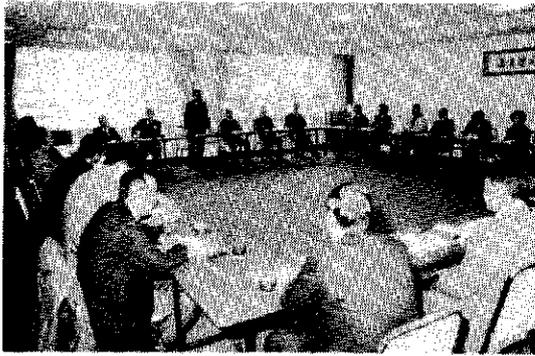
五十九年度

町の転作関連補助事業

- ▽川西町重点作物奨励補助金 大豆、青刈トウモロコシ、野菜の集団転作を実施した生産組織に対し、十アール当たり二千元以内の補助金を交付
- ▽転作中核集団育成事業補助金
- ▽転作物実証ほ設置事業 など。

第三期対策中の基本面積と59年度転作等目標面積

	基本面積	昭和59年度 転作等目標面積	転作率	実際に転作を 要する面積	他用途利用米の 生産できる面積	他用途利用米 生産予定数量
全国	600,000 ha	600,000 ha	21.4%	544,000 ha	56,000 ha	270,000,000 Kg
新潟県	20,820	20,820	12.4	18,877	1,943	10,080,000
川西町	110.5	109.9	9.8	99.5	10.4	48,480



緑の少年団育成会設立総会

川西町では、昭和五十年年度から町行分収造林事業に着手し、すでに三百七十ヘクタールを植栽しています。これからも人口林率三〇パーセントを目標に、計画的な造林を進めることになっています。

今年の六月六日には、魚沼地方(二市三郡)植樹祭が節黒城跡で行われます。これを機会に、町民の皆さんから植林に対するいっそうのご理解をお願いします。

団員は上野小

五、六年生

川西町の緑の少年団は、上野小学校の五、六年生(五十九年度は五十人)が団員となります。名称は上野緑の少年団です。緑の少年団は現在県内に十七団体あります。



「緑の少年団」が

結成されます

次代を担う少年から森林のたいせつさを知ってもらい、自然に親しみ、自然を愛し、緑を守ることから計画し、実行する組織として緑の少年団が結成されます。

先月二十三日、松葉荘で緑の少年団育成会設立総会が開かれました。参加者は、小千谷林業事務所、十日町森林組合、町長、上野地区議会議員、造林推進協議会、上野地区総代会、上野小学校、同PTA、などの関係者でした。総会では、規約や役員などが決められました。

魚沼地方では十日町市の野中緑の少年団に次ぐものです。

五十九年度の事業としては、五月に結団式、六月六日は魚沼地方植樹祭、八月にキャンプ、十一月には緑の少年団祭りなど、多彩な行事が組まれています。

下刈り作業などの重労働もありますが、苦しさに打ち勝ったときの喜びは格別です。自然に溶け込んだ思い出と自信は、社会へ出てからの大きな心の糧となるでしょう。

転作奨励補助金の交付額

(単価:10 a当たり・円)

種類	作物名	基本額 (A)	バラ 転作	団地化計 画の部分	転作定着 化該当地
特定作物	大豆、そば、麦、飼料作物	41,000	(A) のみ	(A) + 20,000	(A) + 10,000
永年性 作物	果樹(ぶどう、りんごを除く)	49,000	(A) のみ	(A) + 20,000	(A) + 10,000
一般作物	たばこ、青刈稲、大豆以外の豆類、養魚池、水田養魚、林地、など	26,000	(A) のみ	(A) + 15,000	(A) + 10,000
野菜	この地域で栽培できる野菜(れんこん、くわいを含む)	21,000	(A) のみ	(A) + 15,000	(A) + 10,000

※管理転作は21,000円、土地改良通年施行は24,000円の基本額が交付されます。

▶転作定着推進第1種加算の要件

・団地化加算の場合

転作地が完全に地続きで、団地の規模が3ha以上であること。また1ha(仙田地区は0.7ha)以上の団地を集めて、団地の面積の合計が転作面積の3分の2以上であること。団地内の転作作物は原則として2作物以内に統一されていること。

▶第2種転作定着化推進加算要件

- ・集落内の水田耕作者により、転作営農組合などが設立されており、転作田の利用調整または転作営農が中核的農家、生産組織等を中心に行われていること。
- ・地域ぐるみの話し合いのもとに、集落内の大部分が転作されたこと。などが考えられる。

転作達成率

58年度は104.4%

58年度は、水田利用再編第二期対策の最終年度でした。県からの配分面積109.7haに対し、転作等実施面積は116.76ha、転作率は104.4%になりました。実施農家は949戸でした。農家の皆様のご理解、ご協力、関係機関のご指導に感謝しております。

大豆	24.68	シ	ロ	ウ	リ	1.63
そば	8.05	林	地	等		4.88
青刈トウモロコシ	19.14	加	工	用	稲	14.96
イタリアンライグラス	16.71	保	全	管	理	6.12
ナ	1.63	そ	の	他		18.96

雪から

LPガス設備を

守ろう

LPガス(プロパンガス)の事

- 故防止をお願いします。
- 豪雪時は、さまざまな形で事故が起こりやすくなっていますので、次のことを心掛けてください。
- ①液化石油ガス設備(ボンベ、配管、給排気等)に落雪などの危険があるか点検し、危険のあるものには雪囲いなどをする。
 - ②ガス設備が雪に埋もれている場合は、ただちに除雪する。
 - ③ガス設備付近の除雪、雪下ろし作業時には特に注意し、終わったら必ず点検すること。
 - ④ガス漏れ警報器の取り付け。
 - ⑤ガス漏れを発見したら、すぐに火を消し、容器元バルブを閉め、窓や扉を開け換気すること。
 - ⑥設備の異常は、すぐに販売店に連絡し、点検してもらうこと。

南米訪問記 ①

ブラジル 見たまま

金子 幸作

金子幸作さん(岩瀬)は、このたび日本海外移住家族連合会の二十四次南米訪問派遣団の一員として、南米諸国を歴訪されました。今号にはブラジルについての寄稿を頼み、掲載させていただきます。次号はパラグアイの予定(です)。
今回は町史コーナーをこの欄に替えてさせていただきます。

うたた今昔の感がする。

明治の末に第一次移民が入植したのはサンパウロ州のレジストロ(現在は市、人口五万人)で、ドレイ解放後の穴埋めに日本からの移民を許可したともいわれ、入植者はインジオ(原山人)の看視の下でそれは苦労したという。

この時代に赤谷から移民した小川十蔵、高橋広松氏の消息がいまだに不明のため、領事館で調べてもらったが分からずじまいだった。こうした犠牲者の多くは、サンパウロ市内の先没者慰霊碑に無縁仏としてまつられている。

ブラジルは南アメリカ東部の連邦共和国で、もとポルトガル領であったが、一八二二年に独立し八九年に共和国となった。面積は八百五十一万平方キロメートルで人口はおよそ一億二千万人、コーヒー、紅茶、ゴム、綿花、砂糖などの農産物が多く、牧畜も盛んである。南半球ではポルトガル語を使うただ一つの国で、各国からの移民も多く、日系人は約七十万人を

数えている。地球の反対側に、日本とは全く別の、もう一つの日本の国が確かに存在していた。しかも、この国の中にある日系社会では、日本人がだれよりも優位に立って現地人を指導、雇用し、使われる人たちも「ジャポニーズのおかげで良い職場を得た」と感謝のことばを繰り返している。

川西町の出身者も、日本では想像できないような豊かで張りのある生活をしておられた。藤巻秀里トキご夫妻は、サンパウロ市から六十キロ離れたピエターデの町で二十四町歩の大果樹園を経営され、中島之男・イクゴ一家は成人した春行、直行の若夫婦と協同で、藤巻家から少し離れたバーデングラデの町で、四町歩の菜園にレタス、花野菜等を栽培しておられ、共にサンパウロのセアジエツペ(市場)へ出荷して人もうらやむ繁栄ぶりであった。

北風が暖かくて南風が寒く、サンタクロースが汗だくでやって来、西瓜は細長く、桃はミソの部分かふくらみ、蟹は頭が光って奇妙である。夜の空にはブリーズ・マリアが輝き、神秘的なクルゼイロ・ド・スウ(南十字星)が南を指す。寒暖が日本に共通する時期もあってか、松、モクレン、ホオ、ネム、山ウルシ、麻、シソ、ホウセンカなどの野生植物が、日本のそれより一回り大きく繁茂し、ハイビスカスなどの大樹に大輪の花が咲き誇って、南半球の夏をエキゾチックに彩っている。

楽しくて

住み良い国

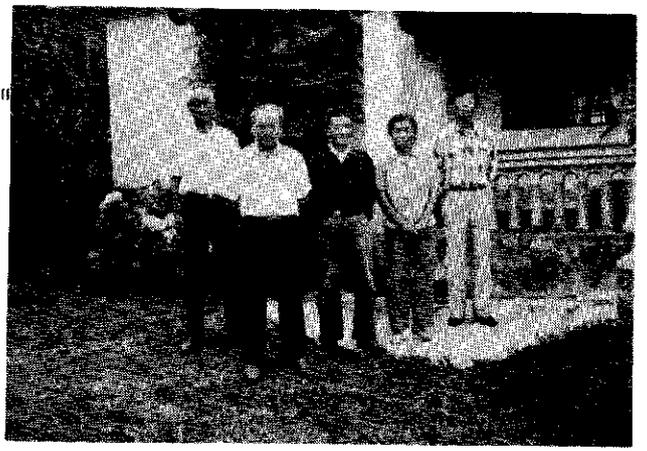
弟夫婦の顔が広く、それに、慶子の一族に実業家がなんんかいてくれたことから、内外の名士と懇談する機会に恵まれ、老人クラブの講師に招かれたりもした。ほとんどの方から「ブラジルのご感想は」と聞かれ、その際は「ボンパイス(良い国)とお答えした。住み良い国である。汗水流して働かなくてもなんとか食っていける。地震がない、台風が来ない、雪が降らない、寒くもなければ暑過ぎもしない、冬の着物がいらな

い、慶市の場合でも軽装で訪問できる、徴兵がなければ戦争もなく、ヒフや目や毛色の違う人種が仲良く平和に暮らしている。日本とアペコベの事象が多いのは、両国が地球の反対側に位置するためか。十二時間の時差が昼と夜を逆にさせ、真冬が真夏になり、

カプト虫、ゴキブリ、アリゴは日本の二倍くらい大きき、イモリやカナギツチョには保護色や警戒色のヤツが多い。ジープで山奥へ入ったとき、一メートル余のトカゲに道をふさがれたこともあった。ヘビは一匹も見なかった。

丸山静男ご夫妻は、果樹園の管理を若夫婦に任せて今はご隠居の身分とか。魚市場を経営される星名二郎ご夫妻は、ブラジルの貴族とまで称されて優雅な生活をおられる。私の弟国菜も、レジストロ市で従業員三千人(傘下の生活者一万二千人)をかかえるシヤブラス(山本紅茶園)の支配人で、妻の慶子は小・中・高等学校のコール・テナドーラ・ペタコジカ(指導主事)を勤めている。

や木蔭で暑さをしのぎ、夜は外へ出て夏を楽しむ。午前零時を過ぎてもまだ野外のテーブルを囲み、油のしたたる焼肉をつつき、ピンガ(地酒)やセルベージャ(ビール)を飲みながら語り、踊り明かすのである。ネオンのまばゆい遊戯場には一通りの遊具もそろっているが、日本のパチンコだけは禁止されている。そのためか、まじめに働く人の姿も見られて遊んでばかりはいないことが分かった。産児制限はご法度の国で、子どもが多いことが目につく。親が死んでも届けない家庭があって、戸籍では百五十才以上の老人も多いという。自ら命を絶つ人が罪悪視されて自殺者がなく、人口は増加の一途をたどっている。死刑制度もなく、罪を重ねると刑が加算され、徴役二百七十年で服役中の猛者もいると聞いた。



ピエダーデの藤巻家の前で
左から中島之男、金子、藤巻秀里・イク、中島春行の皆さん

車社会と教育と

自動車の所有率はおおむね十戸に一戸とか。ワーゲン型の乗用車が半数を占めて国産車がこれを追う。日本車の姿はなく、燃料の国内自給を自ぎしてアルコール車が幅を利かせている。騒音や排ガスの規制がないのか、すべての車がデッカイ音させて我が物顔に走り、市内に入ると耳目鼻が痛くなる、信号待ちの車をねらって、果物、宝くじ、雑誌、ピーナツ、酒類などを売り歩く少年が目だつのもブラジルならではの風情か。酒酔い運転を自撃しても、警察がツカメタ話は一度も聞かないという。街の要所に、大きなU字管を置いて通せんぼしたようなケーブラ、モータ（こわす、パネ）や、このU字管を埋めたほどのデープレス、

ソン（低い、くぼ地）が設けてあり、どの車もここへ来ると必ず除行か一時停止する。スピードを出して通過すれば車をガリッとやられるか、ハンドルを取られて大事故になることは必至で、イヤでも止まらなないと自分が損をする施設である。みんながルールを守らなくて、目には目を式な知恵から考案されたといひ、高・低の箇所にはペンキが塗られてある。

マウロ氏（慶子の義兄）の別荘で、日本に関心を持つ二、三世たちと話し合った。メンバーに教師が大ぜいいて話題は日本の教育に集中したが、家庭や学校内で発生する暴力、非行が信じられない面持ちであった。日本ではとくに失われた親孝行や公衆道徳の美風が、この国ではりっぴに生きていく。

そういえば、慶子も教師であるだけに、金子家における二男一女のしつけは徹底していた。「善と

繁栄する

日系人

とにかく、どこへ行っても日系人が進出、繁栄している現実を目を見張った。日本は、かつて満州国を建国して農業移民を送ったが、その時は大砲を背にした武装入植であった。それなのに裸一貫でブラジルに渡った日本人が、平和のうち今日この繁栄を勝ち得た秘密はどこにあったのだろうか。

悪のけじめをわきまえ、将来、だれとでも仲良く生活できる人間形成」を目標に、満十六歳になるまでキビシク教え込むといひ、日常のしつけはことばどおりであった。

祖国を思う

一世たち

シャブラース社長主権の晩さん会は、サンパウロ州商工会議所副会頭の桜井正氏（次期商工大臣候補）はじめ百人もの名士がそろそろ豪華な宴であった。私が、南米訪問団の一員として渡伯したことを述べると、桜井氏は次のようにあいさつしてくださった。

「ブラジルの特徴は、国土が日本の二十二倍もあるほど広く、たくさんの異民族が平和に暮らしており、仕事をしない人間が目につく、貧富の差が激しい、の四点といえようか。日本政府は、第一次移民をどうしてヘンピンな奥地に送

り込んだのか。無責任だったといいたい。当初の移民者は悪疫や大蛇と闘いながら開拓を続けたが、苦勞の末に大半が死に、運の良い連中だけがブラジルに来ていたおかげで生き残った。もしも日本にいたなら、私たちの年代はみんな戦死していた。世界を敵にした日本のために、ブラジル政府や国民から迫害されたが、日本にいて死ぬよりは良かった。その日本を、懐かしく思うようになった」

シャブラースの山本周作社長は実父と共に、徳川以来の名門であった奈良の商家を捨てて移民し、紅茶一筋に生き今日を築いた立志中の人である。この社長が桜井氏の話のあとを続ける。

「日本が戦争に負けたと分かったとき、オヤジが男泣きした。それを、いわば二世ともいえる私が見て批判したらエラク怒られた。移民送り出しのいきさつから、日本を必ずしも良く思っていない私

はじめ列席の各位が、私の疑問を次のように解明してくださった。

「日系人が今日あるのは、さほど働かなくても食っていける条件の整った国へ入植して、たえず勤勉に働いたことが第一の理由だろう。ゼロから出発してことばを覚え、ほかの民族とも仲良く交際してきた者ほど良い所に出ている。それにもう一つ、私たちが大きな願っていられるのは日本が経済大国として栄えているおかげである。

でもときどき日本へ行きたくなる、行けば行ったで懐かし、祖先の墓参りをしたり知人に会ったりで満足して帰国する。やはり、祖国であるということか」

ブラジルの正月は、クリスマスがにぎわうのとは対象的にヒンリと、イグレージャ（教会）でお祈りして年頭のあいさつを交わす程度である。しかし、明治や大正の気骨を持つ移民者の多くは、午前九時から開かれる四方祭に孫たちを連れて出席し、儀式を体験させ、自分もまた日本人であることを確かめて決意を新たにしている。

「日本は戦争に負けたというが私は負けた覚えがない」と主張する人がいた。若い面壁下のお写真を今なお応接間に掲げる人もあり、こうした日系人に接すると、遠く離れて祖国を思う者の愛国心や郷土愛がひしひしと伝わってくる。ゆえに、日本では消えた四方拝がブラジルに現存する。

この現実をいつも感謝し、故郷を思い、祖国の発展を願っている」といわれたのである。

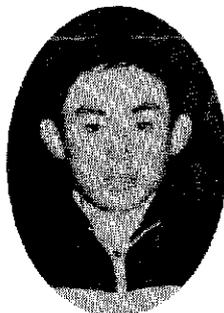
サンパウロ市の移民資料館に、原始林を切り開いた先人たちの資料が年代順に保存、陳列されている。歴史をたいせつにするブラジルは、川西町もそうであるようにこの資料館から国づくりのエネルギーがわくことを期待している。

ひろば

59豪雪に見舞われ、今年の冬はさんざんでした。しかし、明るい話題もいろいろありました。

スキーで、小林俊久選手、星名知彦選手がインタハイと国体の両方にそろって出場したのも、そのうちの一つです。

ひろばでは、両選手にスポットを当ててみました。



(十日町高校2年・中島町) 小林俊久選手



(川西高校2年・沖立) 星名知彦選手

第三十三回全国高校スキー大会は、宮城・鳴子スキー場で二月十五日から十九日にかけて、また第三十九回国体冬期大会スキー競技会は、山形・蔵王スキー場で二月二十二日から二十六日にかけて行われました。

▽高校スキー全国大会の成績

○出場種目 男子15キロ

●タイム 不明

●順位 26位(236人中)

▽国体スキー競技会の成績

○出場種目 男子15キロ

●タイム 45分14秒

●順位 26位(190人中)

○出場種目 男子リレー(8キロ×5人)

●タイム 1時間56分00秒

●順位 4位

▽高校スキー全国大会の成績

○出場種目 複合

●順位 前半(ジャンプ) 55位

(64人中) 後半(クロスカントリー) 9位

(64人中) 総合45位

▽国体スキー競技会

○出場種目 複合

●順位 前半(ジャンプ) 40位

(48人中) 後半(クロスカントリー) 5位

(48人中) 総合29位

(48人中) 総合29位

みんなお元気でした

出稼ぎ職場訪問

出稼ぎ相談員の齋木定太郎さんと、農協、役場の担当者が先月二十二日から二十四日にかけて、埼玉、神奈川、東京の出稼ぎ職場七社を訪問しました。皆さん、それぞれ元気で働いていました。町では二百人ぐらいの人が出稼

上半身を強化します

二つの大会で感じたことは、青森などの東北勢、それに長野と比べると、パワーと気迫がまだまだ足りないということでした。登りに向かうとストック・ワークが鈍り、バテてしまうこともありました。これは上半身(腕)がまだ弱いからです。上半身の強化と走り込みを十分にやり、これからの大会でよい成績を上げたいと思います。

ジャンプに努力します

インタハイと国体に初めて出場して、全国トップクラスのジャンプやクロスカントリーの走りを目の目で確認でき、自分に必要なものがまだまだあるということを実感してきました。

この二つの大会で、クロスカントリーは全国でも通用することが分かったので、これからはジャンプも全国に通用するよう努力していきたいと思えます。



写真を撮っています。写真は埼玉県のサンワ(農業、肥料製造会社)にお勤めの小白倉と岩瀬の方々。

スキーを

ありがとう

— なかまの家 —

地域の皆さんに不用スキー用具の寄贈をお願いしたところ、たくさんのご協力をいただき、ありがとうございました。おかげ様で、なかまたちにはレクリエーションにスキー遊びを加え、充実した生活を送っています。

また、たくさんの方々からボランティア等いろいろな形で、ご好意をいただきありがとうございます。これからもよろしく願っています。



「うまく滑れるかな？」

川西町の積雪状況

(単位: cm)

月日	59年	58年	57年	56年
2・5	329	125	158	377
2・10	364	170	190	415
2・15	335	230	196	353
2・20	338	186	150	336
2・25	300	192	126	355
2・末日	344	220	140	415

『十日町少年少女 発明クラブ員』

募集中

の小学4年から中学3年までの
児童・生徒約八十人ハ

十日町少年少女発明クラブは、
工作活動を通してアイデアを具
体的な作品に仕上げる能力と技術
を持った人間を育てようと、十日
町教育委員会が設置しました。
このようなクラブは全国で五十
余りありますが、新潟県ではこの
クラブが最初です。発明協会(井
深大会長)を中心に全国組織を持
ち活動しています。

①募集人数 十日町市・中魚沼郡



- ②活動場所 十日町市立理科教育センター(十日町中学校内) ☛ 5712306
- ③活動日 四月から十一月の隔週土・日曜日を原則とし、年間二十日くらい
- ④活動内容 基礎工作課程、アイデア工作課程、特別活動(作品展、親子工作教室など)
- ⑤参加料 無料(材料費、傷害保険料は負担)
- ⑥指導者 郡市の小・中学校の先生、十日町発明協会員
- ⑦応募方法 入会申込書は各学校にあり、三月十五日までに学校へ申し込む

実力発揮!

町民スキー 距離大会

小学4年女子

第7回町民スキー距離大会は、スキー日和に恵まれた3月4日に、川西中学校グラウンドで行われました。個人競技には285人が出場し、タイムを競い合いました。入賞者は次のとおりです。

- ▷小学3年男子〔1km〕 ①山岸智和(千手)4'31" ②小林正樹(千手) ③高橋貴之(千手)
- ▷小学3年女子〔1km〕 ①小林奈奈子(千手)5'41" ②南雲みゆき(千手) ③小川晴美(仙田)
- ▷小学4年男子〔1km〕 ①高橋哲也(千手)4'07" ②柳善信(千手) ③南雲孝幸(千手)
- ▷小学4年女子〔1km〕 ①五十嵐朝子(橘)4'59" ②星名美保(上野) ③丸山裕子(橘)
- ▷小学5年男子〔3km〕 ①高橋直樹(千手)11'17" ②田口祐一(上野) ③相崎和行(千手)
- ▷小学5年女子〔2km〕 ①星野直紀(千手)9'20" ②星名薫(千手) ③滋野律子(橘)
- ▷小学6年男子〔3km〕 ①田村正和(千手)10'32" ②清水享(千手) ③平野正巳(千手)
- ▷小学6年女子〔2km〕 ①田村容子(千手)8'53" ②中村和代(千手) ③高橋身奈(千手)
- ▷中学男子〔10km〕 ①高橋肇17'44" ②星名富夫 ③窪田稔
- ▷中学女子〔4km〕 ①北村久美子14'14" ②南雲千夏 ③岩坂恵美

わしの 自慢

「アラレちゃん」を 見てください

霜条
小海 進さん

「珍らしもの好きなんです」と小海さんは自分のことを評した。

「小さいときは絵遊び、中学生になってからはインコやジュウシマツ、ベニスズメなど、いろいろな小鳥を飼い、現在は写真に熱中しています。去年、あこがれ」という写真クラブを友達十二人と作りました」

カメラは三台も持ちである。「気が向けばそっちのほうはつきりになります。今は写真ですな」

このように趣味が多く、いずれも上手なため、何をこの欄で取り上げようか迷ってしまふ。

絵にもいろいろな種類があるが、風景画、人

物画、それに似顔絵など、なんでもこなす。

今回は、二年ほど前にかけた「スペース・スランプ」の絵に焦点を当ててみた。アラレちゃんのアニメを参考にかけたものである。

「仕事から帰り、メシもろくすっぱ食べないで、二、三日、十二時ごろまでかかりましたが、かくのは速いんですよ」

エンピツで下絵をかき、ポスターカラーで鮮やかに仕上げている。

「めんどろなどところはボカシと光と影の部分でした」

「家でゴロゴロしながらくのが好きで、色をベラベラ塗るときは、時間がたつのも忘れてしまいます」

「今は写真が主体ですが、気が向いたらキャッツ・アイのアニメに挑戦することになるでしょう」

小海さんは気さくに話された。

「メシより絵が好きです」と小海さん





今年も献血車ゆうあい号が県内各地を巡回しています。昨年は、大和伸管、川西高校からの協力もいただき、目標の五百五十四人に対し、八百十人の方が

あなたも

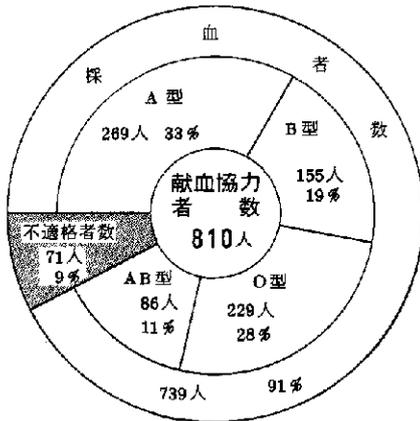
善意の献血を

ら協力していただきました。血液センターから、献血された方に一、二週間ほどで献血結果が

今年の献血予定

期日	時間	会場
4月4日	午後1:00~3:00	克雪センター
5月1日	午前10:00~12:00 午後1:00~3:00	総合センター
6月15日	午前10:00~11:50	上野連絡所
" "	午後1:00~3:00	橋出張所
7月20日	午前10:00~12:00 午後1:00~3:00	総合センター
9月19日	" "	" "
10月26日	午前10:00~12:00 午後1:00~3:00	川西高校
12月4日	午前10:00~11:50	橋出張所
" "	午後1:00~3:00	上野連絡所

58年度の献血結果



届けられます。献血は人命を救うだけでなく、検査結果により自分の健康状態を知れることもでき、継続して献血できれば健康管理にも役立ちます。川西町には別表の日程でゆうあい号が来ます。今冬の豪雪のため保存血液が不足していますので、いっそうの協力をお願いします。どこの会場でもけっこうです。



ツベルクリン 反応検査と判定

ツベルクリン反応検査と判定、BCGを次により行います。◎対象者
 ・五十八年一月一日から十二月三十一日までの間に生まれた人
 ・今までに受けなかった四歳までの人
 ・陰性でBCG接種を受けなかった人

◎ ツベルクリン反応検査

期日	時間	会場
4月9日	午後1:30~2:00	克雪センター
10日	" "	母子センター
16日	" "	総合センター
17日	" "	橋出張所
17日	午後2:40~3:00	白倉小学校

◎ ツベルクリン反応判定・BCG

期日	時間	会場
4月11日	午後1:30~2:00	克雪センター
12日	" "	母子センター
18日	" "	総合センター
19日	" "	橋出張所
19日	午後2:40~3:00	白倉小学校

農業用軽油 免税証の交付

農業用軽油の免税証交付を次のとおり行います。

- ▷ 交付日時 3月26日(月) 午前10時から午後4時まで(昼休み中はご遠慮を)
- ▷ 交付場所 川西町役場
- ▷ 必要書類

- ① 印鑑(共同申請の場合は全員のものが必要)
 - ② 免税軽油使用者証(継続申請の場合)
 - ③ 耕作面積証明書(農業委員会で証明を受ける)
 - ④ 使用機械の証明書(所有証明、借用証明)または納品書などの写し(カタログ持参)
- ▷ その他 申請用紙は十日町財務事務所にあります。

行政相談に どうぞ

- ・とき 3月28日 午後1時~3時
 - ・ところ 総合センター
 - ・相談員 富井源蔵さん
- 道路、河川、保険年金、公害など、国の行政関係についての苦情、要望、意見がありましたら、遠慮なくご相談ください。

県では、スパイクタイヤの使用による道路の損耗や生活環境への影響が心配されることから、「スパイクタイヤ不使用に関する実施要綱」を制定し、その趣旨の周知徹底に努めています。スパイクタイヤ使用の方は、春先のスパイクタイヤ装着の必要がなくなる時期には、ただちに夏タイヤに交換してくださるよう、ご協力ください。

スパイクタイヤの 早期交換を

母子センター案内

3月17日 安産教室
 4月2日 3歳児検診(56年3月~56年6月生)
 4月4日 乳児検診(56年3月、10月、12月生)
 4月11日 妊婦相談、産後検診
 いずれも午後1時から

町行造林 作業班員を募集

町内の山林地帯で、雑木の伐採や杉苗の植栽などの作業に従事してくださる人を募集します。

- ①募集人員 男子55人、女子若干
- ②採用条件
 - (1)川西町の住民で健康な人
 - (2)男子はチェーンソー・刈払機の操作ができる人
 - (3)年齢は4月1日現在男子の場合70歳未満
 - (4)募集人員を超えた場合は、技術・資格・年齢等を考慮して選考する
- ③賃金 原則として川西町農業標準賃金を基本日額とし、ほかに技術・運転等の諸手当を加算する
- ④期間 昭和59年5月1日から59年11月30日までの予定
- ⑤就業時間 午前8時から午後5時10分まで
- ⑥休日 原則として日曜日
- ⑦申し込み 健康診断書1通、自動車運転免許所有者は免許証の写し、それに印鑑を持参して、産業課林業係へ申し込む
- ⑧締め切り 3月31日
- ⑨その他 短期特別雇用保険、労働災害適用の制度あり
- ⑩採用通知 選考のうえ4月21日までに各人に通知

警察官の募集

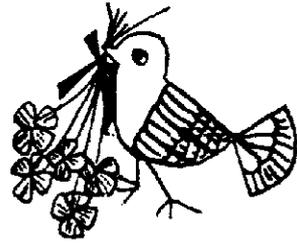
新潟県警察官A（大卒者）の採用特別試験が次により行われます。

- ①受験資格 大学既卒者
 - ②受付期間 4月9日～5月10日
 - ③採用予定人員 約25人
 - ④第1次試験 5月20日（日）
新潟中央警察署
 - ⑤第2次試験 6月中旬
 - ⑥採用年月日 59年8月1日
- ※受験手続きなどは、十日町警察署か最寄りの駐在所へおたずねください。

停電

今回はありません。

善意



次の善意が寄せられました。

- ◆豪雪見舞寄付金
- ※新潟相互銀行（大森広作取締役社長）から五万円
- ※新潟県信用組合（高橋正雄理事長）から二万円
- ※全国町村会から三万円
- ※県町村会から二万円
- ※公明党新潟県本部から二万円
- ◆社会福祉協議会へ
- ※星野政幸さん（野口）から二万円

クロスカントリイ

スキー技術交流会

川西高校
グラウンド



模範滑走

町内
さんぽ

先月二十五日の午後、川西高校グラウンドには、小・中学生が百二十人ほど集まり、川西高校の南雲先生をはじめ、スキー部員たちを講師に、クロスカントリイスキーの技術指導を受けていました。参加者は、小学校四年生以上の町内各学校の代表者で、三月四日の町民スキー大会に出場する人が対象でした。

準備体操の後、中学生と小学生の組に分かれ、パスカングの練習に入りました。パスカング走法は距離競技で最も多く用いられる走法です。

高校生の模範滑走を見て、まず、ストックなしで歩くことから始め、徐々にスピードを加えます。上体

に力を入れず、タイミングよくキックすることがポイントです。上体から足の先までが、瞬間的ですが一直線にならなければなりません。

続いてストック・ワークに入りました。腕は大きく振りますが、肩より高くは上げません。前後に腕を鋭く伸ばし、最後まで押し切ることがコツです。ストックを押し切ったときは力を抜いて、手を離したり、握りを緩めたりすることによって腕をリラックスさせる必要があります。

足の使い方としては、体重を支えるほうは軽くひざを入れ、バランスを保ちます。足と足とが交差した瞬間真下にキックします。キックした後は胸を張ります。

スキーを滑らせるには腰の使い方もたいせつで、腹部を出すような気持ちで腰を入れることです。

コースから絶対に目を離さないようにすることはもちろんです。この後、推進滑走、スケートイングなどを教わり、自信をつけて町民スキー大会に臨むことができました。

「かなり速くなりました」



くすくす

増えている心身症

心の健康シリーズ③

最近、心身症という言葉が耳にすることが多くなりました。私たちは、日ごろ病気を心の病気と体の病気に分けて考えがちです。医学の領域でも、心の病気は精神科、体の病気は内科、外科、婦人科等というように、その領域によって解決しようとしていることが多いようです。ところが、心の病気には大なり小なり体の変化が伴っています。

心身症を分かりやすくいえば、精神異常ではなく、心の側になんらかの要因があつて、体の症状を示す患者につけられる病名の総称です。ですから、その中にはさまざまな病気が含まれています。胃かいよう、本態性高血圧症、肥満症、夜尿症、インポテンツ、しっしん、気管支ぜんそくなど



どもその一部で、どんな病気にも考えられます。

また、心身症の患者の特徴は、ふだん緊張人間といわれる人がなりやすく、過度に緊張する人や何事にも完全主義の人、仕事のことや頭がいっぱいの人などは注意しなければなりません。

日本人は働き過ぎといわれています。気持ちにもある程度のゆとりを持って働き、ストレスを発散させることがたいせつです。

明るい職場関係、円満な家庭生活、スポーツ、十分な睡眠、楽しい趣味などで毎日の生活をうまくコントロールできれば、心身症の予防になります。

日常生活の中で自分自身の心や体になんらかの不安があつたり、家族のだれかに心配な様子が見られたら、迷わず早めに専門家に相談をして、健康な生活を送ってください。

戸籍の窓から

うぶ声—おすこやかに

田中由美 茂夫 三女 下原
星名 絵美 政一 長女 沖立
丸山ひとみ 信一 長女 原田
若山 桂子 義信 長女 新町新田

昇天—ごめい福を祈る

高橋 正市 坪山 五三
大平 吉治 原田 六六
野澤 みよ 野口 七一



太田白南風選

霜条 星名 星光

四十戸の村のしづかに雪晴るる
ガラス戸に剣のごとく氷柱反り
盆梅の床に置かるる一慶事
煙突の煙吹き込む吹雪かな
ストーブに向けて背中の寒さかな

三領 高橋たかし

一慶事ありて分家へ室の梅
針供養とて一日を和装にて
初午の太鼓の音も雪に消え

上村 キヨ 下平新田 七四
押木 クマ 元町 八三
星野 トク 野口 九一

新しい嘱託員

③ (敬称略)

【仙田地区】

○中仙田・小林政夫、○室島・佐藤敏兼、○小脇・斎木周次、○高倉・高橋幸一、○藤沢・茂野政業、○田戸・押木モト、○越ヶ沢・川崎保一、○赤谷・小川利芳、○岩瀬・登坂六郎、○大倉・中條重夫、○大白倉・桐生四方吉、○小白倉・田中米二郎

心配ごと相談

● 3月14日……… 橘出張所
● 3月21日……… 克雪センター
● 3月28日……… 総合センター
● 4月4日……… 上野連絡所
● 4月11日……… 橘出張所
※時間は午後一時から三時まで。

2月の交通事故発生件数

計	0	(3)	(4)	(5)	(0)	(1)	(0)
死者	0	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
傷死	0	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
酒気	0	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
酒	0	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)

()内は前年比較

豪雪や庇見下ろす露地の径
旧正の丈余の雪にこもりをり

三領 水品 律

春立ちてよりの雪なお続くなり
除雪車の深雪に響き通りけり
小康の雪に人待つ心かな
早春の俄に荒き空もよい
子の櫛に置き盆梅の日向かな

中仙田 左木人

雪雲の動けば青き空ありし
眠る山従へ三山凍て立てり
地吹雪の信号呑みし白き闇
豪雪に川塞がれて瀬音なく

岩瀬 小川 益栄

一階家の窓に迫りて雪の壁

芽桜にうそ来ておりし春立つ日
大雪の降り積む家の老一人

赤谷 高橋チヨノ

高窓の光を受けて鉢の梅
節分やはしやく子等に鬼もいて
追儺豆打たれ鬼の子あわてけり

野口 野沢 寅生

春寒や湯治の客の荷の重く
部落長神主もして春祭
節分や園児の列の鬼の面
僅かなる日射し盆梅雪に出し

赤谷 小川 秀

日脚のお農を継ぐ子に嫁きまり
大庇より一面の大氷柱